

十二月議会で同意した人事案件

十二月議会には、左記の二件の人事案件への同意が求められましたが、全員一致で同意されました。

教育委員会委員の任命について

津山市上之町二九六番地一 菊田 裕也
津山市加茂町小中原六五番地一 八木恵三子
人権擁護委員候補者の推薦について
津山市西吉田五九一番地四二 豊福 恵美

総務大臣から感謝状が贈呈されました

在職三十五年以上 末永 弘之

平成十八年十月十九日、東京ルポール麹町で、「平成十八年度都道府県議会議員および市区町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式」が行われました。この感謝状は地方議会議員として通算三十五年以上在職し、地方自治の発展に功労があった者に総務大臣から贈られます。全国で、八百二の市区(市区総議員数は二万四千七百四十五人)があり、そのうち百三十四人の市区議会議員が表彰され、岡山県では一人でした。

十二月議会で提出された請願の審査結果

● たばこ販売組合への助成に関する請願
↓継続審査
● 住民の暮らしを守り、公共サービス拡充を求める請願書
↓採択

住民の暮らしを守り、公共サービス拡充を求める意見書(抜粋)

国の三位一体改革の名による地方交付税の削減が行われ、多くの自治体からは、「交付税の削減では地方は自立できない」「町づくりの夢や希望までもが奪われている」との声が出されています。国の責務は、貧困層の増大や地方の「格差」を是正するために、大企業・資産家優遇の不公平税制の是正、社会保障制度の充実など所得再分配機能を強化することです。プライマリーバランスや歳出削減が強調される一方で、在日米軍再編などに多額の税金が投入されようとしていることも大きな矛盾であり、容認できません。以上の趣旨から、政府に対して、下記事項の実現を要望するものです。

- 一、地方自治体が本来果たすべき役割である地域住民を守るために、必要な地方財源である地方交付税の財源保障機能を守り、人口・面積による基準で削減する新型交付税制度を導入しないこと。
- 二、医療、教育、福祉などの公共サービスの水準を維持・向上させるため、機械的な公務員の削減や企業の利潤追求の場とする市場化テストなどの「規制改革・民間開放」、国の地方支分部局の統廃合などは行わないこと。
- 三、「格差社会」の是正を図るために、社会保障制度を充実すること。また、消費税などの増税を行わず、大企業・大金持ち優遇税制を是正し、応能課税を行うこと。
- 四、地域住民の合意と納得を得ない郵便の集配局の廃止再編は行わず、また現在の集配機能を維持すること。

上記の採択された請願について、内閣総理大臣と総務大臣に意見書を送付しました。



議会だよりが皆さんのお手元に届くころには、二月中旬でしょうが、新年号です。今年もよろしく願います。年始第一号の表紙は、恒例の議員全員写真としました。次号からは今まで通り、市立幼稚園、保育園の園児を表紙に思っています。

今年、統一地方選挙の年となり、現在のメンバーでの発行は、今号が最終回となります。委員一同、皆さんに親しみをもっていた紙面を目標にがんばって編集してまいりましたが、いかがでしたでしょうか。今後とも、議会だよりに対しまして、ご理解、ご協力をよろしく願います。(谷)

38号の編集作業終了後、谷口議員は一月末で市議を辞職しました。

雪景色のなかでの、今年の消防団出初式。団員皆さんの勇姿を拝見し、改めて今年の目標を再確認しました。「安全・安心」の街づくりをめざしてがんばります。(勝)

この号が皆さんの手元に届く頃はもう、春の息吹がそこまで来ているかもしれません。歴史公園百選に選ばれた鶴山公園、今年も綺麗な桜が楽しみです。(齋)

道路特定財源(目的税) 地方の道路事業が危ない。ガソリンに本来の税額二十八・七円、と上乗せ額二十五・一元、それに消費税(五%)が取られているぞ！(高)

広報調査特別委員会メンバー

- ◎末永弘之 ○谷口圭三
- 勝山 修 齋藤弘道 高橋 誠
- 竹内靖人 仁木豊司 吉田耕造

